

【第 37 回（2025 年度）加藤記念国際交流助成募集要項】

1. 助成対象者：

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日の期間に、海外で開催されるバイオサイエンス分野の学会、シンポジウム等で、自己の研究成果を発表する日本国内在住の研究者（外国籍含む）。

上期（4/1～9/30 に初日を迎える学会）、下期（10/1～翌年 3/31 に初日を迎える学会）の 2 回に分けて公募する。

オンライン開催の国際学会等で発表する研究者も対象とする。

2. 申 込 資 格：

- ① 応募締切日に 35 歳以下の研究者。
- ② 過去に本財団から助成金を受領し 2 年間経過していない人は対象外。（第 35 回研究助成・第 35 回国際交流助成(上期)以降の助成金受領者は対象外）
※オンライン学会の助成者については財団 HP の Q&A を参照。
- ③ 大学院生可。応募時の学部学生不可(6 年制の学部は 5 年生以上可)。
- ④ 社会人大学院生については、教育・研究・医療機関等に在籍している者は応募を認めるが、企業等に在籍している者は応募不可。

3. 推 薦 者：

申請者の現所属機関・研究室の上長（教授、主任研究員などの PI 相当職(注)）。推薦者は 1 名のみ推薦可。上期に本助成を受領した研究者の推薦者は、その年度下期は推薦できない。

4. 助成金使途：

- ① 学会・シンポジウム等の参加経費（PCR 検査費・旅費・滞在費・参加費・※通信経費・懇親会費・情報交換経費・発表資料作成費等）として助成する。
※オンライン参加限定（詳細は財団 HP の Q&A 参照）
- ② 当財団は渡航に合わせて留学希望先や共同研究先等への訪問を推奨している。この訪問旅費等に一部充てることが構わない。
- ③ 助成金より間接経費等として大学等が徴収することは認めない。

5. 助 成 金 額：

年間予算総額 8 5 0 万円程度。（上期下期合わせて 3 5 件程度）。

《渡航地域別の 1 件当たり助成金額》

・欧州・南米・アフリカ： 3 0 万円

- ・北米(東部)・メキシコ： 25万円
- ・ロシア・西南アジア： 25万円
- ・北米(西部)・オセアニア・インド： 20万円
- ・東南アジア： 15万円
- ・東アジア(中国・韓国・台湾)： 10万円
- ・オンライン(日本国内)： 実費(円建て)(上限10万円)

- 1) 他財団や学会等から重複して参加経費等の補助を受ける場合は、採択を見送る、又は減額して助成を行うことがある。
- 2) 採択決定後に参加学会等がオンライン開催に変更となった場合、助成金額はオンラインの金額に変更となる。
- 3) オンラインの実費に関しては、詳細は財団HPのQ&A参照のこと。

6. 応募方法：

申請書 当財団ホームページ(HP)から研究者登録を行い、受付フォームに入力後、PDF版をアップロードする。捺印不要。

推薦書 以下のいずれかの方法で提出する。

推薦者の捺印後、PDF化し、申請者からアップロードする方法。

① 推薦者から直接メールにて財団に提出する方法。

- ・ 事前に申請者より財団事務局にメールにて、推薦者から推薦書を直接送付する旨を伝え、了解を得る。
- ・ 推薦者から財団事務局に推薦書(捺印後PDF化)をメール送付。
- ・ 提出の際のメールのタイトルには「【推薦書提出】加藤記念国際交流助成」と記載する。
- ・ 申請者は白紙の推薦書をダミーとしてアップロードし、申請手続きを終了させる。

7. 応募期間：

- ① 上期：2025年1月4日～2月28日
- ② 下期：2025年7月1日～8月31日

8. 審査方法：

当財団の選考委員による審査の上、財団所定の手続きを経て決定。

9. 採否の通知：

- ① 上期：3月下旬頃に申請者に通知。
- ② 下期：9月下旬頃に申請者に通知。

他財団や学会等から参加経費等の補助を受ける予定(可能性)がある場合、内定通知時にその内容と予算の概略を提出すること。

10. 助成金支給：

所属機関と協議の上、機関への寄附もしくは個人管理を選択。助成金は学会での発表が受理されたことを確認した後、振り込む。ただし学会開催時期により、事後支払いとなる事がある。

学会終了後 1 ヶ月以内を目途に会計報告を提出すること(書式自由)。

なおオンライン学会の助成金については、実費のため会計報告提出後に振り込みとする。

11. 報告書提出：

学会終了後 1 ヶ月以内を目途に所定の書式で提出する。

12. 情報公開：

- ・ 助成が決定した場合、氏名、所属機関、職名、参加学会名、演題等を財団 HP 等により公開する。
- ・ 提出いただいた報告書は、当財団の「財団年報」(冊子体、2026 年 8 月頃発刊予定)に掲載する。

財団 HP の「よくある質問：国際交流助成 Q&A」を必ずご確認ください。ご不明な点等については事務局までお問い合わせください。なお採択後であっても研究活動の不正行為が発覚した場合は助成を取消し、助成金の返還を求めることがあります。

連絡先：公益財団法人 加藤記念バイオサイエンス振興財団 事務局

〒194-8533 東京都町田市旭町 3-6-6

TEL：042-725-2576

FAX：042-729-4009

E-Mail：zaidan@katokinen.or.jp

(注) PI (Principal Investigator, 研究室主宰者) とは、ここでは独立した研究室を持つ、研究グループの予算作成・執行の責任者、担当課題の予算作成・執行の責任者、特定の部下(大学院生等含む)の指導の責任者、発表論文の責任者、の全てを実質的に満たす研究者とします。申請者ご自身が PI の場合は、上位者による推薦が必要です。